

【プレスリリース（抄訳）】

※本プレスリリースは、2013年10月29日にインドネシア共和国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

2013年10月29日
エイピーピー・ジャパン株式会社

APP は森林保護方針の進捗状況に対する グリーンピースの報告書を歓迎します

【2013年10月29日 ジャカルタ発】—Asia Pulp and Paper (アジア・パルプ・アンド・ペーパー、以下「APP」)は、同社の森林保護方針 (Forest Conservation Policy、以下「FCP」)によりインドネシア国内のサプライチェーンにおける森林破壊の恒久的停止に向けて行われている作業の進捗状況に関する、グリーンピースの報告書を歓迎します。

本日発行されたグリーンピースの『APPの森林保護方針：進捗レビュー』は、APPが実行しているFCPのあらゆる面について徹底的に調査したもので、報告書は「APPはFCP計画を真剣に捉えており、中心となる上級スタッフはこの新たな誓約の実践に本気で取り組んでいる」と結んでいます。

今年2月5日に発表されたFCPは、インドネシア国内のサプライチェーン全体を対象として自然林の伐採を即時停止するというAPPの誓約であり、APPのすべての原料供給会社は、高保護価値 (HCV) 林および高炭素貯蔵 (HCS) 林がアセスメントにより特定されるまで、自然林の伐採を停止しています。このアセスメントは、フォレスト・トラスト (以下、「TFT」) と独立したHCV評価機関により実施されており、2014年前半に終了する予定です。

FCPの導入により、グリーンピースのAPPに対する反対運動は停止され、それ以降、グリーンピースはAPPの方針が実行されていくにつれて、建設的な批評と助言を継続して行っています。

APPの持続可能性およびステークホルダー担当役員であるアイダ・グリーンベリーは次のように述べています。「FCPの導入はわずか9ヵ月前のことでしたが、グリーンピースの報告書でAPPの進捗状況が認められたことは、我々にとって大きな励みになります」

「今後も長い年月を要する作業が前途に待ち受けていることは承知していますが、今回の報告書は、当社が目指しているのはサプライチェーン全体における森林破壊の恒久的停止であり、そしてAPPはその目標に向けて正しく歩んでいるのだという、さらなる自信を与えてくれました」

「グリーンピースや他の多くの NGO による精査は、当社にとってかけがえのない原動力となっており、今後もあらゆるステークホルダーと協力し続けていきたいと思えます」。

グリーンピースの報告書は、2013 年 2 月の FCP の立ち上げ以来、当社が行ってきた、下記のような多くの前向きな進展を取り上げています。

- 自然林および未開発泥炭地の全面的伐採禁止
- FCP 違反事例 2 件に関する自発的開示
- 初期の教訓と違反に基づいた、FCP の管理および実施面での改善措置
- HCV 評価報告書案について、ステークホルダーの意見を求めると誓約したこと
- 社会紛争に関する優先地域における進展（スマトラ島ジャンビ州セニエラン村）
- 新規パルプ材供給会社に FCP を適用するための提携手順の実施計画
- 多くの NGO が参加する作業部会との協議を通じ、高炭素貯蔵（HCS）地域と保護価値の高い（HCV）地域以外で伐採された混交熱帯広葉樹材（MTH）の代替用途を模索すると決定したこと
- FCP の実施について第三者監査を導入すると決定したこと
- 特にオンライン監視ダッシュボードについての、さらなる透明性対策

また本報告書では、さらなる改善に向けた下記のような多くの課題が提起されていますが、APP は現在、こうした課題に対する対処を実施しています。

- APP は、重複する土地ライセンスの問題に対処するために、さまざまなステークホルダーを参加させる計画を策定し、現存する課題の詳細をオンライン監視ダッシュボード上で共有すべきである。
- APP は、持続可能な森林管理計画の作成スケジュールをオンライン監視ダッシュボードで公開すべきである
- 泥炭地の評価と管理を加速させるべきである
- 環境保全計画において、信頼における専門家の意見を取り入れるべきである
- APP は、中国での取り組みについて透明性を高めなければならない
- APP は、インドネシアにおける植林材供給に関する長期予測に、精査に耐えられるだけの十分な確実性があることを直ちに実証すべきである

またグリーンピースの報告書は、現在進行中の FCP の実践は当社と取引を行う上での条件であるべきだと述べ、当社とのお取引を希望するお客様に対しても非常に明確な助言を与えるものとなっています。

グリーンベリーは最後にこう述べております。「購買企業の皆さまのさらなるご指摘は、APP が FCP を引き続き実施していく上での原動力になると当社は考えています。また、こうしたレベルでのお客様との協働により、APP の取り組みは純粋なものであり、評価されるべきであるという明確なメッセージを市場に対して送ることができるかと確信しています」

グリーンピースの報告書に対する APP の回答の全文は、以下よりご参照ください。
<http://www.asiapulppaper.com/news-media>

以上

<本リリースに関するお問い合わせ>

エイピーピー・ジャパン株式会社

環境・PL対策チーム

寺崎 孝穂（てらさき たかお）

Tel: 03-5217-1256 Email: t-terasaki@appj.co.jp

エイピーピー・ジャパン広報代理

エデルマン・ジャパン株式会社 小保内（おぼない）

Tel: 03-6858-7723 Email: akiko.obonai@edelman.com

<APP について>

Asia Pulp & Paper (APP) は、インドネシアと中国を拠点に紙・パルプを製造する企業グループの商号です。APP グループ企業は一貫化された世界最大クラスの紙パルプ企業であり、その生産能力はパルプ、紙、加工製品を合わせて年間 1,800 万トンを超えます。APP インドネシアおよび APP 中国は現在、6 大陸 120 カ国以上で製品を販売しています。APP の生産設備の大部分は、SVLK、LEI、PEFC による加工・流通過程管理認証を取得していません。

APP は、環境パフォーマンス、生物多様性の保全、地域社会の権利保護のさらなる改善を目指して、2012 年 6 月に持続可能性ロードマップ「ビジョン 2020」を、また 2013 年 2 月に新しい「森林保護に関する方針」を発表しました。

APP 持続可能性ロードマップ「ビジョン 2020」の詳細についてはこちらをご参照ください：
www.rainforestrealities.com または www.asiapulppaper.com

「APP 森林保護に関する方針」についてはこちらをご参照ください：
www.asiapulppaper.com

<APP ジャパンについて>

エイピーピー・ジャパン株式会社（以下、「APP ジャパン」）は、インドネシアのジャカルタを本拠とする世界トップ 3 に入る総合製紙企業 APP グループの日本における販売会社です。1997 年の設立以来、16 年にわたり日本市場のお客様のニーズをお応えするため、印刷、情報用紙、板紙、コピー用紙、文房具などの分野で、多様な紙及び板紙製品を提供しております。